（様式１－１）

Beyond Limits. Unlock Our Potential.
To the Next Stage.
第２期スタートアップ・エコシステム拠点形成計画
（既存拠点都市用）

コンソーシアム等の名称：北九州市スタートアップエコシステムコンソーシアム

Ⅰ．全体ビジョン

1．スタートアップ・エコシステム拠点形成の目指す姿・KPI

（1）－1　エコシステムの現在地　【拠点都市選定時（令和２年度）→現在（令和６年度）】

エコシステム推進体制の充実

北九州市SDGsスタートアップ エコシステムコンソーシアム

Kitakyushu SDGs Start up Ecosystem Consortium

47団体 ▶ 63団体（+16）

安川電機、TOTO、第一交通産業、九州工業大学、地元金融機関等が参画し、産学官金が一体となってスタートアップを支援

有望な北九州市発スタートアップの誕生

J-Startup

QUANDO

㈱クアンド

建設・製造業等の現場向けビデオ通話アプリの開発・販売

J-Startup KYUSHU

EV Motors Japan

㈱EV モーターズ・ジャパン

独自技術を搭載した商用EV(ﾊﾞｽ･ﾄﾗｯｸ･小型ﾓﾋﾞﾘﾃｨ等）、急速充電器等の開発・販売

J-Startup KYUSHU

KiQ Robotics

KiQ Robotics㈱

ロボットハンドツール「ラティス構造柔軟指」の開発・販売

J-Startup KYUSHU

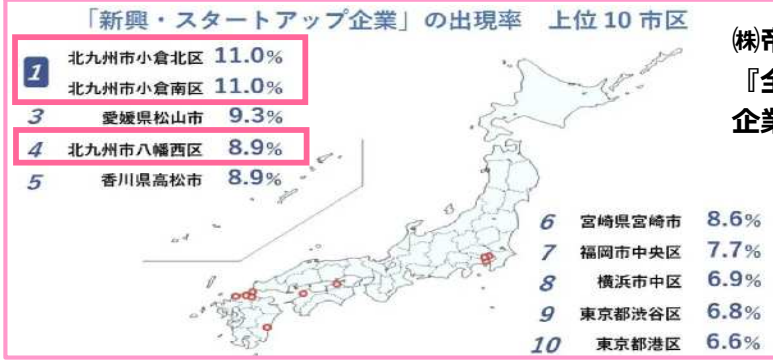
TriOrb

㈱TriOrb

3つの球と3つのモータで全方向に自由に移動できるプラットフォームの開発・販売

新興・スタートアップ企業の出現率

全国1位



㈱帝国データバンク『全国「新興・スタートアップ企業」の動向調査（2023年）』

北九州市の小倉北区と小倉南区が11.0%の同率で全国第１位、八幡西区が8.9%で全国第４位（令和6年6月発表）

コミュニティ拠点の充実

9拠点

北九州市や民間のコミュニティ拠点（コワーキング等）が増加中

COMPASS小倉

北九州市の中核創業支援施設

COMPASS KOKURA

ATOMica北九州

GYMLABO

九州工業大学の交流拠点

GYMLABO

HIBIKINO ODORIVA

HIBIKINO ODORIVA

第1期拠点都市KPI達成状況（令和２～６年度）

項　目	当初	現　状	KPI
スタートアップ創出	22社	101社（+79社）	100社
ユニコーン創出	0社	0社（　+0社）	1社
スタートアップビザ活用	0件	9件（　+9件）	20件

（１）－２　５年後の目指す姿・ＫＰＩ

中核都市型

グリーン分野をはじめ、ものづくり・ソーシャルＡＩ分野のスタートアップが生み出すイノベーションで、世界を先導し成長を続けるサステナブルシティ

グリーン

高度経済成長期に発生した公害を克服し、環境都市へ生まれ変わった技術・ノウハウを生かし、サーキュラーエコノミーや再生可能エネルギー分野を中心に、グリーンテックスタートアップによるイノベーションの創出を目指す。

ものづくり

1901年の官営八幡製鉄所の操業開始以降、培ってきた“ものづくりのまち”としての産業基盤を生かし、ロボット、半導体、宇宙分野をはじめとするディープテックスタートアップの集積と、スタートアップと市内ものづくり企業との協業による競争力強化を目指す。

ソーシャルＡＩ

他の大都市に先行して直面している少子高齢化等の社会課題を、AIや量子コンピューティングの活用により解決する。
また、地元に愛着を持つアトツギスタートアップによる課題解決を支援し、「課題解決先進都市」の実現を目指す。

ＫＰＩ

グリーン分野のユニコーン（上場・未上場含む）で、海外展開した北九州市発スタートアップの社数

令和9年度末（中間）　1社　▶　令和11年度末（最終）　2社

（２）世界に発信できるセールスポイント（イチ推しポイント）

世界に誇る“ものづくり”や“環境（グリーン）”の技術を、スタートアップと掛け合わせ、新たに生み出したイノベーションで、サステナブルな世界に貢献

北九州市の戦略的優位性

01 ものづくり企業の集積

- 鉄鋼・化学の素材部材、自動車、ロボット、半導体産業が集積
- ものづくりのグローバル企業の本社が立地
- 製造業従業者数：全国11位
- 製造品出荷額　：全国15位

安川電機

02 グリーン産業の集積

- 北九州エコタウンにはリサイクル企業が集積（日本最大級）
- 再生可能エネルギー導入容量：政令市3位
- アジアとの物理的距離の近さや、環境国際協力（海外水ビジネス等）を通じて培ってきたネットワーク

03 豊富な理工系人材

- 理工系14校・約3,000人の人材を毎年輩出
- 文系を含めると約9,000人を輩出

国立大学法人 九州工業大学

早稲田大学 情報生産システム研究科 Graduate School of Information, Production and Systems, Waseda University

北九州市立大学 THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

独立行政法人国立高等専門学校機構 北九州工業高等専門学校

04 北九州学術研究都市（知の集積）

同一キャンパスに、

- 4つの大学院・学部
- 13の研究機関
- 53のスタートアップ・企業
- 学生、教員、研究者、従業員等3,500人が集積

（３）戦略的優位性を生かしたグローバル展開モデル【学発スタートアップ】

STEP1 学術研究都市やアカデミアの研究シーズを事業化

- 国立大学法人 九州工業大学：ロボット／半導体／宇宙
- 北九州市立大学 THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU：グリーン
- 早稲田大学 情報生産システム研究科：情報・AI／バイオ
- 福岡大学：グリーン
- 独立行政法人国立高等専門学校機構 北九州工業高等専門学校：ロボット／グリーン／情報・AI

研究シーズ → 事業化 → ディープテック スタートアップ創出

支援体制

- 北九州産業学術推進機構（FAIS）
  - 学研都市の運営
  - 学研発ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟの創出
- PARKS
  - 九州20大学が連携した大学発ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟの創出
- COMPASS小倉
  - 創業相談・アクセラ
  - 開業ﾜﾝｽﾄｯﾌﾟｾﾝﾀｰ

STEP2 環境都市・ものづくりのまちならではの実証フィールドで技術を磨き社会実装へ

北九州エコタウン

- 日本最大級のリサイクル企業集積地
- 最先端の廃棄物処理、資源リサイクル、新エネルギー等の幅広い環境関連技術の実証研究エリアを整備

エコテックキャンプ

脱炭素など環境課題の解決を希望する北九州市内企業と、全国のグリーンテックスタートアップをマッチングし、誘致やオープンイノベーションを促進するプログラム

【主なプログラム】
ピッチ、リバースピッチ、
現地視察（市内企業等）、商談　等

東田未来都市プロジェクト

「持続可能なまちづくり」を目指して開発された東田地区のグリーン関連インフラ等を活用した実証プロジェクト

【主なインフラ】
太陽光発電、風力発電、世界的に珍しい市街地に敷設された水素パイプライン、水素住宅、水素ステーション、燃料電池

STEP3 北九州市の地理的優位性・アジアとのネットワークを生かしたグローバル展開

アジアとの距離が近く、
陸・海・空の物流インフラが充実

北九州空港

太刀浦コンテナターミナル

環境国際協力を通じて培ったアジアとの強力なネットワーク

- カンボジアへの水道技術協力
- インドネシアでのごみの減量化

連携団体が海外ネットワークを駆使してグローバル展開を支援

- JETRO：北九州市にも拠点があり緊密な連携が可能
- JICA：九州拠点が北九州市にあり緊密な連携が可能
- 北九州市 CITY OF KITAKYUSHU：国際・経済部門、環境部門と連携

（４）戦略的優位性を生かしたグローバル展開モデル【地場・中堅企業発スタートアップ】

STEP1 地場・中堅企業のものづくり技術を、多様な支援メニューで事業化

北九州課題快傑バスターズ！
市内企業等が抱える課題をプラットフォームに集約化・見える化・共有化し、スタートアップとマッチング

市内企業等の未来産業参入支援
市内ものづくり企業の未来の成長産業（半導体・次世代自動車・ＧＸ・宇宙等）への参入に向けて、研究開発に関する補助事業や伴走支援等を実施

アトツギ伴走支援
市内中小企業のアトツギの育成に向けて、新規事業開発など第二創業的な取組の伴走支援を実施

地域中核企業新規事業等創出伴走支援
地域中核企業の新規事業開発等による成長に向けて、計画策定支援・伴走支援等を実施

事業化
- カーブアウト
- アトツギベンチャー
- 第二創業
- オープンイノベーション

STEP2 産学官による資金支援・伴走支援、実証フィールドの提供・販路開拓支援

企業変革・ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ・ｸﾞﾛｰｽｻﾎﾟｰﾄ事業
①市内スタートアップ成長支援プログラム
市内スタートアップに特化した資金支援・伴走支援
②ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ支援ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ【市内企業協業枠】
スタートアップと市内企業による
オープンイノベーションに対する
資金支援・伴走支援

ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ成長支援ﾌｧﾝﾄﾞ事業
・北九州市が選定した無限責任組合員（GP)が組成・運用するファンドへ、北九州市が有限責任組合員（LP)として出資
・GPと連携してスタートアップへ資金調達支援や伴走支援を実施

北九州市SDGsｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟｴｺｼｽﾃﾑｺﾝｿｰｼｱﾑ
北九州市のものづくりグローバル企業をはじめとする産学官63団体による
実証フィールドの提供・販路開拓支援
安川電機、TOTO、第一交通産業、ゼンリン、タカギ、北九州商工会議所、YE DIGITAL、日本ｱｲ･ﾋﾞｰ･ｴﾑﾃﾞｼﾞﾀﾙｻｰﾋﾞｽ、証券会社、地元金融機関、メガバンク、VC

STEP3 北九州市の地理的優位性・アジアとのネットワークを生かしたグローバル展開

アジアとの距離が近く、
陸・海・空の物流インフラが充実

北九州空港

太刀浦コンテナターミナル

環境国際協力を通じて培ったアジアとの強力なネットワーク
・カンボジアへの水道技術協力
・インドネシアでのごみの減量化

連携団体が海外ネットワークを駆使してグローバル展開を支援

JETRO 北九州市にも拠点があり緊密な連携が可能

JICA 九州拠点が北九州市にあり緊密な連携が可能

北九州市 CITY OF KITAKYUSHU 国際・経済部門、環境部門と連携

（４）都市間連携によるスタートアップ支援

九州を中心とした都市間連携により、広域でのスタートアップのビジネスマッチングや資金調達支援を推進

01 スタートアップ都市推進協議会

・スタートアップ支援に積極的に取り組む12自治体が加盟し、都市間連携を推進
〈加盟自治体〉
福岡市（会長市）、北九州市、熊本市、別府市、鹿児島市、
青森市、富谷市、つくば市、千葉市、高岡市、浜松市、品川区

・自治体間の情報共有、「地方創生ベンチャーサミット」への共同参加、スタートアップ等の海外派遣を実施

・毎年、東京都内で「JAPAN STARTUP SELECTION」を共同開催し、各自治体のスタートアップと、首都圏の事業会社、VCとのマッチングを支援

02 スタートアップワールドカップ

・2024年の九州予選を熊本市で開催
・北九州市、福岡市、熊本市、別府市、鹿児島市の市長が、九州ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ・ｴｺｼｽﾃﾑ創出宣言を発表

〈宣言内容〉
① グローバルにつながるスタートアップ・エコシステムの創出を推進します
② オープンイノベーションを促進し、九州発スタートアップの成長をサポートします
③ 九州内の支援者コミュニティを有機的に連携させ、スタートアップ支援体制の強化を図ります

03 福北連携

・2023年、北九州市・武内市長の就任直後に、福岡市・高島市長とトップ会談を行い、連携分野の一つをスタートアップとすることで合意

〈スタートアップ分野の連携内容〉
① スタートアップ支援施設の連携
北九州市：COMPASS小倉
福岡市　：Fukuoka Growth Next
② 大学発スタートアップの創出・成長支援
③ STARTUP KYUSHUへの参加

04 STARTUP KYUSHU

・九州各地から、スタートアップ、投資家、起業志望者、学生、事業会社、行政がキャンプ施設に集い、ピッチ、トークセッション、交流会を開催

・九州全体のコミュニティ形成を目指す

Ⅱ．世界とシームレスに繋がる

（１）実績

INBOUND

01 海外スタートアップへのプロモーション活動

JETRO Business Connect 2021ファクトリーテック

・外国企業によるピッチ・マッチングイベント
・米、英、独など8か国15社の外国企業を地元企業とマッチング、オンライン面談

J-Bridge Discover Kyushu Invitation Program

・海外5カ国・地域のスタートアップ15社を招聘
・北九州市の小倉城天守閣で、北九州市と福岡市の地元企業9社とのマッチングイベントを開催

海外の有力スタートアップを招聘

・海外テック系スタートアップをリストアップし、 うち27社と北九州市の㈱安川電機、TOTO㈱をマッチング
・シンガポール・台湾・ウェールズ等を北九州市に招聘し、地元企業とのピッチイベントと商談を実施

シンガポールでの誘致プロモーション

・アジア最大級のスタートアップイベント「SWITCH」に、市長自らが参加しトップセールスを実施
・TOTO㈱、ウイングアーク1st㈱、九州工業大学、市内スタートアップの産学官のチームで、北九州市のポテンシャルをアピール
・イベントへ参加した188社（208名）のうち2社が北九州市への進出に向けて実証を実施

02 海外スタートアップへの実証フィールド提供

SWAT Mobility Japan㈱

SWAT MOBILITY シンガポール発

独自技術で既存バス路線データを分析し、効率的なダイヤ改正を提案するサービスを実証→北九州市交通局で公共調達実現

CRUST JAPAN㈱

CRUST JAPAN シンガポール発

北九州産の廃棄トマトを原料としたビールを開発

OUTBOUND

01 スタートアップ・アントレプレナー向け海外展開支援

スタートアップとエコシステム関係者向けブートキャンプ

・北九州市内のスタートアップや起業前のアカデミアを対象に、日本語・英語のプレゼン指導を実施
・国内外のスタートアップイベントでピッチ
・CESのJAPAN（J-Startup）パビリオン出展に採択

学生の海外派遣プログラム

・理工系の学生（九州工業大学・北九州工業高等専門学校）を、台湾や欧州へ派遣し、英語でのピッチ指導を経て、派遣先のスタートアップイベントでピッチ
・派遣終了後、成果発表会を開催

北九州市発スタートアップの海外派遣プログラム

・台湾、シンガポール、米国へ派遣し、展示会への出展、ピッチ、商談等の機会を創出

エコシステム連携

01 海外エコシステムとの交流

C⇔Q Startup Exchange（ウェールズとの交流）

・ラグビーワールドカップを契機に交流の始まったウェールズと、イベントの共同開催や起業家・スタートアップ等の相互派遣を実施

“Discover Kitakyushu”: Taiwan Startup Invitation Program（台湾との交流）

・台湾のスタートアップ13社とスタートアップ支援団体5団体を招聘し、交流イベントを開催

グローバル関連の取組実績（令和2～6年度）

海外展開を支援したスタートアップの社数	34社
招聘した海外スタートアップの社数	33社

Ⅱ．世界とシームレスに繋がる

（２）－１　今後の取組と目標

海外スタートアップの誘致・海外エコシステムとの連携

INBOUND

STEP 1
海外でのＰＲ活動

北九州市が重点を置く台湾・シンガポールをはじめとするアジア諸国などで開催される国際イベントへの参加・ブース出展などを通じて、PR活動を実施

STEP 2
海外スタートアップや海外エコシステム団体の招聘

・北九州市に、ジェトロや海外協力機関のネットワークを通じ、海外有力スタートアップやエコシステム団体（政府、VC、アクセラレータ、インキュベーター）を招聘
・地元企業、自治体、関係機関との協業・連携機会を提供することで、ビジネスのきっかけを生み出す

JETRO　Startup Island TAIWAN　Enterprise Singapore

STEP 3
海外スタートアップのソフト・ランディング支援

・PoC・実証事業のハンズオン支援や、 VC・地元企業とのマッチングを通じて、北九州市での創業・拠点開設等を支援
・スタートアップビザ、外国人エンジニアビザの活用

北九州市 国家戦略特区 FUTURE CITY

Japan Entry to KKJ

Company Registration	Visa (Startup Visa)	Office	Other (Living)	Setting up Business

KKJ Business Support Center (KBSC)

KKJ (Local Government)	JETRO Kitakyushu	COMPASS Kokura	Specialists

JICA九州との連携

北九州市に拠点を置くJICA九州と連携し、海外スタートアップとの合同イベント等を通じた誘致活動を実施

CIC Fukuokaとの連携

CICが持つグローバルネットワークと連携し、
✓ 海外スタートアップ、投資家、エコシステムプレイヤーの呼び込み
✓ 市内スタートアップの海外展開や起業家の派遣

CIC Fukuoka
（令和7年4月オープン）

（２）－２　今後の取組と目標

スタートアップ・アントレプレナー向け海外展開支援

OUTBOUND

STEP 1

大学生・高専向け アントレ教育

工業高等専門学校生・大学生向けに、世界のスタートアップ動向を伝えつつ、海外展開も視野に入れた起業家精神育成を行うイベント・セミナー等を開催

STEP 2

研究者向け ディープテック 海外展開支援

高専や九州工業大学を有する北九州市において、研究者（院生・教職員・ポスドク等）を対象とし、海外展開を視野に入れたディープテックスタートアップの創出・育成プログラムを実施

STEP 3

スタートアップ 海外展開支援

・北九州地域のスタートアップへの情報提供、アクセラレーションプログラム実施、海外派遣等を通じて、スタートアップの海外展開、ボーングローバルなスタートアップ創出へつなげる

KTI 北九州貿易・投資 ワンストップサービスセンター

構成団体がそれぞれの特性を生かして地元企業の海外ビジネスを支援

北九州市 CITY OF KITAKYUSHU 国際ビジネス戦略課　JETRO ジェトロ北九州　KFTA 北九州貿易協会

KPI 01

海外展開を支援したスタートアップの社数

令和9年度末（中間）	令和11年度末（最終）
15社	25社

KPI 02

招聘した海外スタートアップ等の社数

令和9年度末（中間）	令和11年度末（最終）
30社	50社

Ⅲ．スタートアップの成長を支援する

（1）実績

オープンイノベーション

企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業
（令和6年度）※新しい地方経済･生活環境創生交付金活用事業

☑市内企業協業枠において、スタートアップと市内企業を公募し採択
☑協業に対し、資金支援（400万円×2年）・伴走支援

5件 採択

メイカーズ オープンイノベーション トライアル事業
（令和2～5年度）

☑北九州市の地元企業（共創企業）が掲げるテーマに対し、スタートアップ･学生を公募しマッチング
☑共創企業からの支援金（100万円）で、共創企業とともにプロトタイプを作成

共創企業 18社 × スタートアップ・学生 16社 採択 / 181件 応募

プロトタイプ作成の協業を通じてオープンイノベーションへ接続

公共調達

企業変革・スタートアップ・グロースサポート事業
（令和6年度）※新しい地方経済･生活環境創生交付金活用事業

☑行政課題解決枠において、北九州市が掲げる課題を解決できるスタートアップを公募し採択
☑課題解決に対し、資金支援（400万円×2年）・伴走支援

4件 採択

北九州発！新商品創出事業
（令和2～6年度）

☑北九州市のスタートアップや中小企業が開発した新商品・新サービスを認定し、販路開拓支援
☑市の部署で活用が見込めるものは、市がトライアル購入し、導入実績づくりを支援

認定期間中は競争入札によらない随意契約を可能とし、公共調達へ接続

認定件数 35件 / うちスタートアップ 14件

Certified Products 北九州発！新商品創出事業

スタートアップ成長支援の取組実績（令和2～6年度）

北九州市による公共調達件数 4件

（２）－１　今後の取組

北九州課題快傑バスターズ！

01 北九州市の市民・企業・行政・大学等が抱える課題を、プラットフォームに集約化・見える化・共有化

02 コーディネーターが、課題とスタートアップを目利きしマッチング

03 オープンイノベーションや公共調達へ接続するだけでなく、民間基金も活用

市民

企業・行政・大学

意見

PoliPoliGov
市民意見収集・分析
行政に声を届けるウェブサイトPoliPoliGov上で、市民意見を収集・分析

課題

課　題

イノベーション共創プラットフォーム

課題の集約化・見える化・共有化

コーディネーター
課題とスタートアップをマッチング

×

スタートアップ

共創

オープンイノベーション
企業×スタートアップ

公共調達
行政×スタートアップ

Policy Fund 実証寄付基金
民間の寄付基金を活用し、行政の予算化を待たずに課題解決

※新しい地方経済・生活環境創生交付金活用事業

Ⅲ．スタートアップの成長を支援する

（２）－２　今後の取組

大学からのイノベーション創出拠点化（J-PEAKS）

文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」

令和6年度に、九州工業大学が採択
※連携大学：
北九州市立大学
長崎大学

ディープテックシーズを社会実装可能な技術に昇華させる仕組み・体制を整備し、国内外に開放することで、スタートアップの創出等を目指す。

GYMLABO
アイデア創出の場

未来思考実証センター
社会実装支援

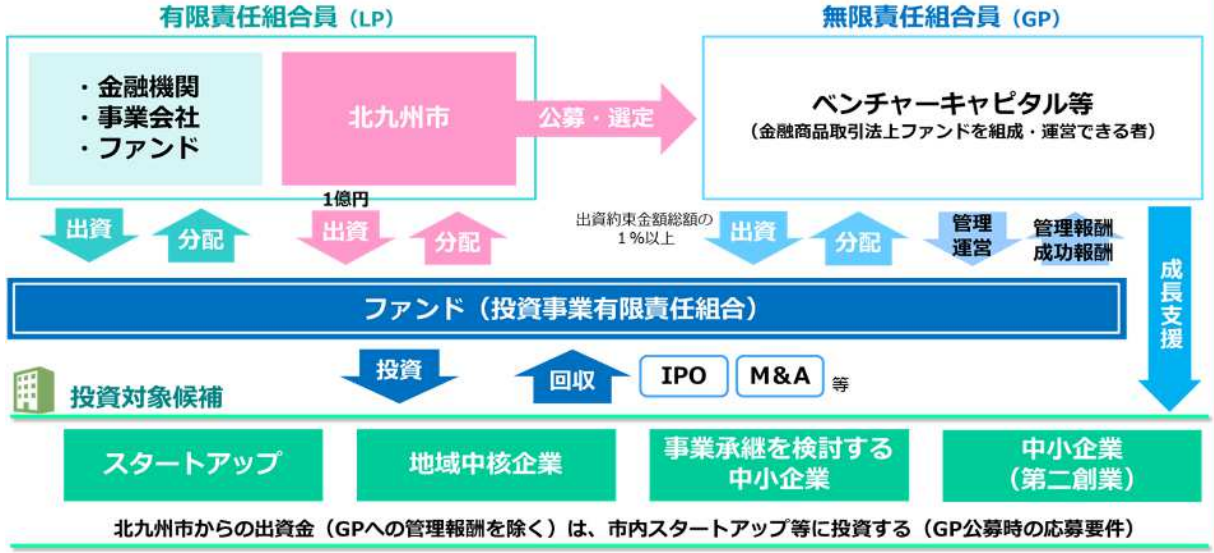
九工大未来テラス
（令和7年4月完成予定）
- **社会実装推進部隊の集積拠点**
- ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ専用ｵﾌｨｽﾌﾛｱ
- 連携機関ｵﾌｨｽ・ｼｪｱｵﾌｨｽ

未来デザインスタジオ
PoC開発の場

- **６面電波暗室の整備**
  （宇宙空間を模した通信実証）
- ﾛﾎﾞｯﾄﾊﾝﾄﾞ、3Dﾌﾟﾘﾝﾀ等を整備

スタートアップ成長支援ファンド事業

01 北九州市がファンド運営者（GP）を公募・選定し、ファンドへ出資
02 ファンドを通じた投資やGPと連携した成長支援を行い、スタートアップの資金調達や事業活動を支援



半導体等のディープテックスタートアップ創出拠点化

北九州学術研究都市での九州工業大学等学術機関の連携による開発環境強化

次世代半導体技術開発環境強化

- **スタートアップ起業**
- **技術移転**

運営ノウハウ移転

九工大マイクロ化総合技術センター

新生シリコンアイランド九州
半導体産業の再集積

製品開発

ロバストパワエレ・脳型AIハード開発拠点化

スループロセス可能な装置群
ディープテックシーズの原理検証用
試作開発の試行錯誤を高頻度で可能に

オープンファシリティーセンター構想
- 地域の開発拠点運営人材を地域で育成・雇用維持する仕組み
- 学術研究都市を構成する機関が有する設備のオープンファシリティ化と、共同で維持財源を確保

国立大学法人 九州工業大学
北九州市立大学 THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU
北九州市 CITY OF KITAKYUSHU

➡内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」で先行事例を構築済み

（２）－３　目標（ＫＰＩ）

KPI

北九州市による公共調達件数

令和9年度末（中間）	令和11年度末（最終）
10件	15件

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

1．アントレプレナーシップ教育等を通じた人材育成

（1）アントレプレナーシップ教育等に関する実績

PARKS　九州・沖縄・山口圏域の20大学＋2機関で構成されるアントレプレナーシップ教育等を通じて大学発スタートアップの創出を目指すコンソーシアム（JST「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」に採択）

北九州市から九州工業大学（九州大学と共同主幹機関）と北九州市立大学が参画

KPI（令和8年度末まで）
- 全ての大学でアントレ教育を実施
- アントレ教育受講者数12,000人/年

アントレプレナーシップ教育実績（受講者数）

教職員	大学生・大学院生	小中高生・高専生
令和4年度 400人（7プログラム）	令和3年度まで 4,084人	令和5年度 2,513人（38プログラム）
令和5年度 363人（7プログラム）	令和4年度 9,117人（127プログラム）	
※令和6年度も実施中	令和5年度 15,399人（165プログラム）	

北九州市立大学 起業家育成ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ ～大学院生対象 ﾋﾟｯﾁｺﾝﾃｽﾄ～

九州工業大学 宇宙・衛星開発アントレ教育プログラム「Space Business Bootcamp」

海外研修プログラム	シンガポール、台湾、香港へ派遣し、現地の大学等と交流
インパクトｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ教育	ｲﾝﾊﾟｸﾄ投資やｲﾝﾊﾟｸﾄｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟに関する教育・実践学習を提供する「PARKSｲﾝﾊﾟｸﾄｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟﾗﾎﾞ（PISUL）」
大学の特色を生かしたﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	九州工業大学の宇宙教育

北九州市 CITY OF KITAKYUSHU　未来のアントレプレナーシップ育成事業

- ✓ 小中学生向けキャリア形成ワークショップを開催
- ✓ 市内の起業家と出会い、社会課題の発見や解決アイデアの　考え方などを学習・発表

アントレプレナーシップ教育実績（受講者数）

小学生	中学生
令和4年度 26人（10校）	令和4年度 5人（5校）
令和5年度 116人（ 3校）	令和5年度 359人（3校）
令和6年度 59人（ 2校）	令和6年度 89人（1校）

北九州市 CITY OF KITAKYUSHU　ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ起業家育成ｻﾎﾟｰﾄ事業

- ✓ 民間事業者が行う起業家向けアクセラレーションプログラムに対し、補助金（100万円）による支援を実施

北九州市 CITY OF KITAKYUSHU → 補助金 → 民間事業者 → アクセラレーションプログラム → スタートアップ・起業家・学生

ｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｼｯﾌﾟ教育等の取組実績（令和2～6年度）

学発スタートアップの創出数　3社

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

（2）アントレプレナーシップ教育等に関する今後の取組と目標

北九州学術研究都市　学研発スタートアップ創出事業

理工系大学・大学院、ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ、研究機関、企業が集積する学研都市から、ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟを創出

KSRP 北九州学術研究都市 Kitakyushu Science and Research Park

理工系人材の集積地

国立大学法人 九州工業大学
九州工業大学大学院　生命体工学研究科

北九州市立大学 THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU
北九州市立大学・大学院
国際環境工学部・国際環境工学研究科

早稲田大学 情報生産システム研究科
早稲田大学大学院　情報生産システム研究科

人をつくり、時代を拓く。 福岡大学
福岡大学大学院
工学研究科

FAIS
公益財団法人
北九州産業学術推進機構

コミュニティ拠点間の連携による、スタートアップ支援プログラムの相互活用や、学生・起業家の交流による創業機運醸成

学生起業支援エコシステム

COMPASS KOKURA
- ✓ COMPASS小倉「BizDev人材育成ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」と連携し、学研都市の大学・大学院を含めた市内大学横断型ﾈｸｽﾄｱﾝﾄﾚﾌﾟﾚﾅｰｺﾐｭﾆﾃｨを形成

学生起業支援
- ✓ ODORIVA学生起業相談窓口の設置
  ｲﾝｷｭﾍﾞｰｼｮﾝﾏﾈｰｼﾞｬｰや中小企業支援センター専門家による相談対応
- ✓ ｲﾝｷｭﾍﾞｰｼｮﾝﾏﾈｰｼﾞｬｰ人材の育成
- ✓ 学研都市内オフィスの家賃補助

HIBIKINO ODORIVAを活用した起業機運の醸成
- ✓ 起業イベント・セミナーの開催
- ✓ 学研都市の学生・留学生・研究者・ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ等の入居企業による交流会

北九州市 CITY OF KITAKYUSHU

女性起業家の創出強化

スタートアップ起業家育成サポート事業

学生向けアントレプレナーシップ教育で、
女性起業家と学生との
交流機会を創出し、
女性起業家の
プレゼンス向上を推進

国内初となる「Ｚ世代課」の設置

シン・ジダイ創造事業

日本一若者を応援するまちの実現を目指して、
若者の自由な発想や提案を引き出し、
それらを実現させるための教育や伴走支援等を
実施

九州工業大学　九工大SPRING グローバルエンジニア型博士人材育成プロジェクト

社会人のリカレント・リスキリング教育
- ✓ 文科省認定の100%子会社（SPC）「Kyutech ARISE」の設立
- ✓ 九工大やパートナー企業のリソースを自律的・持続的に活用
- ✓ 企業からの社会人博士の引き込み

社会人博士育成に向けた今後の構想
- ✓ 高専との連携による博士学生の呼び込み
- ✓ 学内の技術職員や高度専門職員への博士課程修学支援
- ✓ 北九州市立大学ビジネススクールや企業とタイアップした博士学生育成
- ✓ 地域企業経営者の学位取得推進

KPI

学発スタートアップの創出数

令和9年度末（中間）	令和11年度末（最終）
36社	60社

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

2．エコシステムを支える人材・組織の確保

（1）－1　エコシステムを支える人材・組織の確保に関する実績

コミュニティ拠点・創業支援

9拠点

COMPASS KOKURA　**COMPASS小倉**

共同事業体：寶結、ATOMica、GMOクリエイターズネットワーク、まちはチームだ

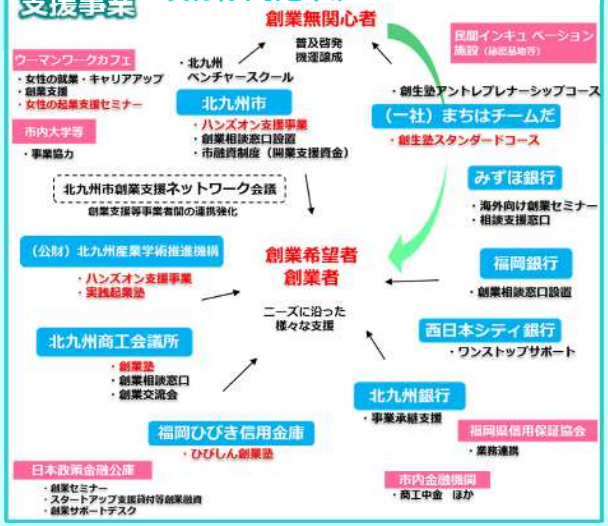
- 創業支援中核施設
- 独自のアクセラレーションプログラム

事務局長兼スタートアップ支援責任者　福岡広兵

HIBIKINO ODORIVA　GYMLABO　ATOMica　KIC KITAKYUSHU INNOVATION CENTER　ダイヤモンドシェア　coworking space 秘密基地　DISCOVERY coworking　BIZIA KOKURA

商工会議所・金融機関による創業支援

特定創業支援事業　相談対応、セミナー、登録免許税軽減、貸付利率引き下げ



北九州市

北九州市 CITY OF KITAKYUSHU　**スタートアップ推進課**

スタートアップ支援事業

指定管理　運営

地域活性化起業人　民間専門人材の活用

有限責任監査法人トーマツ
相川圭典

ネットワーキング

WORK AND ROLE
北九州市のスタートアップ関係者が一堂に会する交流イベント
定期交流会
毎月開催

産学官金による販路開拓・実証・海外展開支援

63団体　**北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム**

Kitakyushu SDGs Start up Ecosystem Consortium

会長
北九州市長
武内和久

民間　46団体

グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会
民間主体のスタートアップ支援
安川電機、TOTO、第一交通産業、証券会社、地元金融機関、メガバンク
ベンチャーキャピタル

会長
㈱安川電機
津田純嗣
特別顧問

北九州商工会議所、ゼンリン、タカギ、YE DIGITAL、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス

行政　7団体
北九州産業学術推進機構、ジェトロ北九州、九州経済産業局、福岡県、北九州市　など

大学・高専　10団体
九州工業大学、北九州市立大学、北九州工業高等専門学校、早稲田大学大学院　など

知の集積（大学・研究機関）

KSRP 北九州学術研究都市 Kitakyushu Science and Research Park
九州工業大学・早稲田大学・福岡大学の大学院、北九州市立大学

士業相談

FECC 北九州市雇用労働相談センター（人事・労務相談）開業ワンストップセンター（開業手続支援）

相談員（弁護士・社会保険労務士）
・至誠法律事務所 代表 春田康秀（弁護士・弁理士）

オープンイノベーション

One Kitakyushu
地元企業の新規事業開発担当者で構成するグループ
コミュニティマネージャー　糸川郁己
（北九州産業学術推進機構 ロボット・DX推進センター マネージャー）

資金調達

32社　**北九州市認定ベンチャーキャピタル**

日本ベンチャーキャピタル
シニアパートナー　照沼大
（北九州市産業経済局顧問）

北九州市発VC
9Capital
代表パートナー　竹山将志
（北九州市企業誘致アドバイザー）

海外エコシステム連携・海外スタートアップ誘致・海外展開支援

JETRO ジェトロ北九州
拠点都市海外連携機能強化プログラム

Japan Entry to KKJ　KKJビジネスサポートセンター
・海外スタートアップの誘致
・スタートアップビザ

KTI 北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター（北九州市国際ビジネス戦略課）
海外展開支援

アカデミア（PARKS）

PARKS Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem

九州・沖縄・山口圏域20大学が連携した
大学発スタートアップ創出
アントレプレナーシップ教育

国立大学法人 九州工業大学
北九州市立大学 THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

都市（拠点）間連携
START UP 都市推進協議会
福岡市、青森市、富谷市、つくば市、千葉市、高岡市、浜松市、北九州市、別府市、熊本市、鹿児島市、品川区

海外エコシステム連携
台湾、シンガポール、ウェールズなど

大学間連携
九州・沖縄・山口圏域20大学

Ⅳ. エコシステム形成の土台を作る

（1）－2　エコシステムを支える人材・組織の確保に関する実績

スタートアップ施策の位置付け

目指す都市像

重点戦略
目指す都市像の実現に向けた３つの重点戦略

主要政策
３つの重点戦略に基づく主要な施策

各分野別計画などに掲げる施策・事務事業
産業振興関連

基本構想　目指す都市像：つながりと情熱と技術で、「一歩先の価値観」を体現するグローバル挑戦都市・北九州市

・ものづくりや環境分野の技術を生かした未来産業の集積や、市内企業の生産性向上、スタートアップの創出など、企業活動の進出や拡大を通じて、誰もが活躍できるまちの実現にも取り組む。
・陸・海・空のネットワークや豊富な水資源、エネルギーといったポテンシャルを最大限に発揮しながら、産学官民が一体となって、未来志向の新しい産業やスタートアップ企業の創出や集積を目指す。

基本計画　３つの重点戦略：①「稼げるまち」の実現、②「彩りあるまち」の実現、③「安らぐまち」の実現

・地域経済の発展や社会課題の解決に向けたイノベーションの担い手となる、スタートアップ企業や人的資源の創出・成長を支援。また、変化の激しい社会において「生きる力」を向上し、さらに未来の起業家を育成するため、チャレンジ精神や創造性・実行力を育むアントレプレナーシップ（起業家精神）教育を小学生期から推進。
・スタートアップも含めた海外企業の誘致に取り組む。
・国際技術協力や政策交流を通じて培ってきたアジア地域とのネットワークを生かし、企業による環境・上下水道分野のインフラ輸出やスタートアップの海外展開を支援

北九州市産業振興未来戦略　スローガン：世界を先導する「グリーン×テック シティ Kitakyushu」～課題解決先進都市への挑戦～

01 アジア諸国の成長力を取り込む対日投資の促進 ▶ 海外スタートアップの誘致

02 スタートアップと多様な掛け合わせによる新たな価値の創造 ▶ スタートアップ × 課題・市内企業・ﾚｶﾞｼｰ産業

03 エリアで掛け合わせる広域連携スタートアップ支援の推進 ▶ 都市間連携 大学間連携

ｽﾀｰﾄｱｯﾌﾟ支援関連予算・人員体制

過去5年間	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
予算額	236,178千円	304,063千円	315,015千円	307,870千円	315,091千円
人員体制	10人	9人	9人	9人	16人

今後

ＫＰＩ	令和9（中間）	令和11（最終）
予算額	320,000千円	330,000千円
人員体制	17人	18人

（2）エコシステムを支える人材・組織の確保に向けた今後の取組内容と目標

現在

拡充

今後

北九州市のあらゆる産業ネットワークとスタートアップとのビジネスを通じた共創関係を強化

北九州半導体ネットワーク	パーツネット北九州	商工会議所
北九州宇宙ﾋﾞｼﾞﾈｽﾈｯﾄﾜｰｸ	北九州ｼｽﾃﾑｲﾝﾃｸﾞﾚｰﾀﾈｯﾄﾜｰｸ	教育機関（大学・高専等）
北九州GX推進コンソーシアム	大企業	地域団体
北九州市DX推進プラットフォーム	中小企業	北九州市

課題 ▶ イノベーション共創ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ × スタートアップ

KPI　企業等とスタートアップの協業件数

令和9年度末（中間）　10件 ▶ 令和11年度末（最終）　15件